

さぽサポ



札幌市自立支援協議会就労支援推進部会

発行日:令和 2年3月31日



定例会

4/26

今年度の札幌市自立支援協議会就労支援推進部会定例会と学習会はWEST19で行われ、約100名が参加していただきました。今年度も定例会では昨年度の就労部会の活動報告と今年度の活動計画、札幌市からは就業・生活相談事業の支援実績、虐待に関して報告をしていただきました。その後の学習会では「高次脳機能障がいのある方の理解と支援」について、函館視力障害センター支援課長 菅野 博也氏に講演をしていただきました。

学習会では「高次脳機能障がいについて、自分の係わったケースと重ねていく事でクリアになる部分があった」、企業の参加者の中にも「高次脳機能障がいの雇用者はいないが、症例については発達障がいの方に共通するところがあると思ったので、参考になりそうだ」という感想があり、参加された方も大変有意義な学習会であったと思います。今後も就労支援推進部会では、札幌市の障がいのある方の就労が進むよう活動をしてまいりますので、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

文/重泉



ワークショップ

10/4

発達障がいの傾向がある大学生・専門学校生就労支援ワークショップを札幌市役所本庁舎にて開催いたしました。大学や専門学校の教員、就職支援に関わる職員、学生相談室の心理士など学校関係職員約30名が集まり、学生の就労支援について学び合いました。

前半は部会スタッフより、「発達障がいの基礎的な知識について」、「福祉サービスや障害者雇用を含め社会資源について」の話を、後半は、グループワーク形式で参加者の皆様に、興味のある架空事例（「大学生のケース」、「専門学校生のケース」、「グレーゾーン学生のケース」）を選んでいただき、それぞれのグループで、課題や対応の仕方について、意見交換をしていただきました。「学校それぞれの実践例や、学内の仕組みについての話を聞くことができ、大変参考になった」との声が多数聞かれました。



文/塚本

年間日程

4月

◆就労支援推進部会定例会

8月

◆JC-NETジョブコーチ基礎・実践セミナー

10月

◆発達障がいの傾向がある大学生・専門学校生就労支援ワークショップ

12月

◆障がい者支援員養成研修ー障がいのある方の支援の基礎を学ぶ レベル4

2月

◆障がい者支援員養成研修ー障がいのある方の支援の基礎を学ぶ レベル2

◆さぽコン



JC-NET ジョブコーチ基礎・実践セミナー in札幌 (就労支援基礎セミナー) 8/31~9/1

「JC-NET ジョブコーチ基礎・実践セミナーin札幌」を開催しました。

基調講演では、大妻女子大学・小川浩先生に「障害者雇用や就労支援のあるべき将来について考える～質の高い障害者雇用・就労支援を目指して～」という興味深いテーマでお話いただきました。

基礎講座は、各講師より就労支援プロセスに沿って、アセスメント、ジョブマッチング、集中支援、フォローアップについてお話していただきました。

実践講座は「作業場面の行動観察」「わかりやすく教える技術」というテーマで講義・演習を行いました。障がいのある方へ具体的な支援を行うためのスキルを、より実践的に学ぶことができる演習だと感じています。

来年度、札幌では「職場適応援助者養成研修」を開催する予定です。演習を通して、より具体的な就労支援の技術・方法を学びたい方は、ぜひご応募いただけると幸いです。よろしくお願い致します。

文/大野



障がい者就労支援員養成研修 レベル4

12/16~12/17

障がい者就労支援員養成研修レベル4が開催されました。この研修は受講要件が設けられ、就労支援経験が一定以上ある方々23名が参加されました。テーマの1つに多職種連携ということがあげられ、連携して支援を行う際に、相手の立場や役割を知りつつ連携することの大切さを知る機会となりました。

それぞれ専門職（看護師、心理士、薬剤師、作業療法士、医療ソーシャルワーカー）の立場から講演をしていただき、多職種の支援者がどのような視点を持っているか、どのような役割の上で専門性を持って仕事をしているかなどをお話していただきました。

2日目にはグループで事例検討を行い、今抱えている困りごとや今後の支援について、グループ内で活発な意見を出し合って、明日からの支援に活かせる学びを得る機会となり、参加した多くの方々に満足いただける内容となりました。

文/内久保

●ともに宮の沢 札幌市西区発寒6条10丁目5-1 菊池ビル4階 TEL: 011-213-7718 FAX: 011-213-7848

【利用時間】 月～金曜日 9:00～16:30、土曜日 9:00～12:00

2018年6月に開所された新しい就労移行支援事業所です。ともに本部でかねてより行っていたクリーニング工場でのフルタイムの立ち作業だけでなく、軽作業なども取り入れ、より利用される方の強みや適性を確認できるようにされています。地下鉄東西線 宮の沢駅から徒歩1分と、駅近くでとてもアクセスの良い立地です。

★ 事業所からのメッセージ

「一般就労がゴールではなくスタートでもある」ことをテーマに、「就職する」ことだけでなく、その後「働き続ける」ということを目標として、ご本人の思いや希望も大切にしながら、お一人お一人のチャレンジを丁寧にサポートしています。

★ 取材を通して

ともに宮の沢さんは、定員6名・スタッフ2名と規模はそれほど大きくありませんが、所内はとても明るく清潔感があり、和やかな雰囲気の中で皆さんそれぞれ任された作業に真摯に取り組まれている様子が印象的でした。

スタッフの皆さんのお話からは、就職してから長く働き続けることを目指して、ご本人の強みや状況をとらえながら、必要な支援を検討・実践されていることがうかがえました。

★ 作業内容

施設内作業として、お菓子の箱折り、保護帽の衝撃吸収素材づくりのほか、封筒の切手貼り・スタンプ押しなど、様々な軽作業や事務作業が行われています。

また、パソコンの基本操作を学ぶ機会や、職場で必要となるルールやマナーなどの職業生活スキルを習得するための勉強会等、作業以外の活動も柔軟に設け、一般就労に向けたサポートを行っています。

求職活動だけでなく就職後も職場定着にかかる支援を積極的に行之、職場で長く安定して働けるように支援をされています。



お役立ち情報

●JC-NET ジョブコーチ養成研修

2020年度、札幌で開催されることが決定しております。ジョブコーチ養成研修を札幌で受けることができる貴重な機会となります。日程等詳細の情報は今後発表されますので、ご注目ください。

●就労パスポート

障がいがある方が働く上での自分の特徴やアピールポイント、希望する配慮などを就労支援機関等と一緒に整理し、就職や職場定着に向け、職場や支援機関と必要な支援について話し合う際に活用できる情報共有ツール「就労パ

スポート」が厚生労働省により作成されました。

就労パスポートの活用方法や作成方法につきましては、ハローワークによる説明会や厚生労働省HPに掲載されている支援機関向けガイドラインをご活用ください。

☞ 厚生労働省HP「就労パスポート」



札幌市情報

【元気ショップいこ〜る】

元気ショップ「いこ〜る」では、北海道内外の障がい福祉事業所で作られた、ぬくもり溢れる作品を多数展示・販売しています。

ライラックパセオ福祉コーナーとして、一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会が運営を開始してから30年、2019年9月には、木の温かみを感じられる商品の魅力を引き出す素敵な空間にリニューアルいたしました。「授産製品から商品へ」をテーマに、これからは新しい時代の福祉のアンテナショップとして様々な発信をしていきたいと思っております。また、定期的に事業所向けのものづくりに関する無料セミナーも開催しております。

札幌駅へお越しの際は、是非足を運んでくださいませ。



いこ〜る
Twitter

住所：札幌市北区北6条西4丁目J R西コンコース1階
電話：011-213-5063 E-mail: iko-ru@sapporo-ikuseikai.or.jp
運営：一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会

さぼコンについて

2月7日（金）、「さぼコン〜若手支援者の意見を聴く会」を開催しました。就労支援の経験が3年未満の20代から50代と幅広い年齢層の方、12名が参加してくださいました。また、過去の参加者の方にもファシリテーターとして参加していただきました。研修では参加者の皆さんから寄せられた話したいテーマをもとに意見交換を実施しました。

トークテーマには「年下の職員からの助言を上手に聞き入れてもらうための工夫」、「なりたい支援者像」など様々なものがあり、グループトーク中は笑い声が聞こえたり、

「なるほど、参考になる」といった声が聞こえてきました。支援に関する悩みを共有し、共感しあい、支援の工夫やアイデアを学びあう時間になったと感じました。さぼコンがきっかけとなり、支援者の皆さんが横の繋がりを持ち、情報交換を図る等連携を持つことで、今後のより良い就労支援の発展に繋がっていき嬉しく思います。

文／荒井



さっぽろ市
02-F04-20-469
R2-2-373